# 磁界中磁気顕微法によるホットプレス(Ba, K)Fe<sub>2</sub>As<sub>2</sub>銀シース線材の 局所臨界電流分布観察

Local Characteristic of Ag Sheath (Ba, K)Fe<sub>2</sub>As<sub>2</sub> Tape Fabricated by Hot-press Process Based on In-field Magnetic Microscopy

 九大<sup>1</sup>、イェール大<sup>2</sup>
中国科学院<sup>3</sup>
Kyushu Univ.<sup>1</sup>, Yale Univ.<sup>2</sup>
CAS<sup>3</sup>
O呉 澤宇<sup>1</sup>, ウォーレン サミュエル<sup>2</sup>、東川 甲平<sup>1</sup>、 黄 河<sup>3</sup>、姚 超<sup>3</sup>、馬 衍偉<sup>3</sup>、木須 隆暢<sup>1</sup>
<sup>o</sup>Zeyu Wu<sup>1</sup>, Samuel Warren<sup>2</sup>, Kohei Higashikawa<sup>1</sup>, He Huang<sup>3</sup>, Chao Yao<sup>3</sup>, Yanwei Ma<sup>3</sup>, Takanobu Kiss<sup>1</sup> E-mail: kiss@sc.kyushu-u.ac.jp

### 1. はじめに

鉄系高温超伝導材料は、臨界電流密度の磁界依存性が優れており、また磁気異方性も小さいことから、高磁界マグネットでの応用が期待されている。応用に向けて長尺線材化の研究が着実に進んでいる。(Ba,K)Fe2As2線材(以後 Ba-122 線材と略記)に関しては、ホットプレス法により高い臨界電流値が得られるが、空間不均一性が顕著であることを前回報告した[1]。その評価結果を用いて作製手法にフィードバックし改善することができた。そこで本研究は、改善されたホットプレス作製手法による Ba-122 線材に対して、局所臨界電流分布の評価を行った。

#### 2. 実験方法

測定対象となる試料は、改善された一軸ホットプレスにより 作製された Ba-122 線材である。線材幅 5.6 mm で、走査型 ホール素子顕微鏡 (SHPM)の観測ステージに合わせて、長さ 11.5 mm に切り出した。測定手順としては、試料を測定温度に 冷却後、規定外部磁界を印加することで磁化させ、外部磁界 を一定に保った状態で試料の直上の磁界分布を計測した。ま た、測定した磁界分布に対応する磁化電流分布を計算するこ とにより、同試料内の局所臨界電流分布を評価した。

#### 3. 結果·考察

測定温度5Kまでに冷却し、計測した各磁場中磁場分布を Fig. 1(a)に示す。前回報告した試料の磁気像では、線材中心 線に沿って二つのフィラメントに分離していたのに対し、改善 されたホットプレス法で作製された今回のサンプルでは電磁 気的にモノコアに磁化している。シート電流密度分布も Fig. 1(b)に示したとおり、空間均一性が改善されていることが分か る。臨界状態モデルにより、磁化電流は臨界電流密度で流れ るため、長手方向のある位置(x)での電流密度分布を幅方向 に積分することで、当所における局所臨界電流(L)を求めた。 各線材の L の長手位置における変化を Fig. 2 に示す。今回 測定した試料では、両端において周回電流の影響を受けて おり、正しい Lc 分布は 5.8 mm < x < 9.0 mm で得られていると 考えられる。位置 x < 5.8 mm と x > 9.0 mm では幅方向に周回 する磁化電流の影響により、長手方向 L が低下しているがこ れは測定上の問題と考えられる。線材中央付近の区間の平 均値を代表的な線材の臨界電流とし、従来ホットプレス法によ る試料と比較したものを Fig. 3 に示す。臨界電流の値は従来 のホットプレス法による値を超えていることがわかる。以上より、 Ic 値ならびに均一性も向上することから、SHPM 観察による作 製手法へフィードバックの有効性と重要性が示された。また、 今回得られた高い臨界電流値と優れた空間均一性は、Ba-122 線材優れたポテンシャルを示すものである。

#### 謝辞

本研究は、JSPS と中国科学院(CAS)との二国間交流事業 (共同研究)による支援を得た。

## 参考文献

[1] 木須ほか,2017年第78回応用物理学会秋季学術講演会.



Fig. 1. Measurement result obtained by the SHPM at 5 K with the external magnetic fields with 2 T, compared with the measurement result of a Ba-122 sample fabricated by the previous Hot-press process [1]: (a) perpendicular component of the magnetic field shown by subtracting the background field and (b) magnetization current distribution.



Fig. 2. Longitudinal critical current distribution estimated at 5 K with the external magnetic fields with 2 T, compared with a Ba-122 sample fabricated by the previous Hot-press process [1]



Fig. 3. Critical current vs. external magnetic field properties obtained at 5 K and 20 K by the in-field SHPM. The results of this improved hot-press sample are compared with those of a sample fabricated by the previous hot-press process.